

困ったときの知恵袋

No 037

【相談】



管用ねじの加工があるのですが、図面に「PF 1-11A」と記載があります。「1-11A」とは何かわかりますか？ また、一般的な「PFタップ」で良い？

【回答】

「1-11」と「A」を分けて考えます。「1-11」は呼び寸法で、1インチの山数が11山のねじとなります。「A」は、めねじの精度でA級のことになります。タップは、一般的な「PF Ⅱ 1-11」を使用いただいで大丈夫です。詳しくは下の説明、資料をみてくださいね。



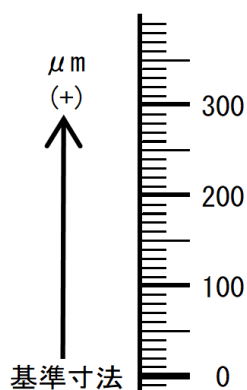
【説明】



PFめねじの等級には、A級とB級があり、PFタップの等級にも2級と3級があります。タップの等級記号は「Ⅱ」と「Ⅲ」と表記されます。タップ等級「Ⅱ」の有効径公差域は、めねじ側のA級B級いずれの有効径公差域内となっています。一般的なPFタップの等級は「Ⅱ」であることから、めねじ等級A級のタッピングが可能です。また、現行JIS規格の「G」タップも、めねじ側のA級有効径公差域内の等級となっていますので使用できます。

【資料】 ■管用ねじとタップの有効径公差域の関係

管用ねじ：1-11 での比較例



■管用：記号の対応表

種 類	区 分		JIS規格	JIS (ISO)	JIS付属書
平行ねじ	平行ねじ	めねじ	JIS B 0202_1982	G	PF・A級
		おねじ		—	PF・B級
				G・A級	PF・A級
				G・B級	PF・B級

【関連する困ったときの知恵袋】

[・ No.058 GとPFの違い-1](#)

[・ No.085 管用ねじの精度比較例](#)
